

柳生小

原料から育て卒業記念に



これがイチオシ

廊下・教室 開放的な空間

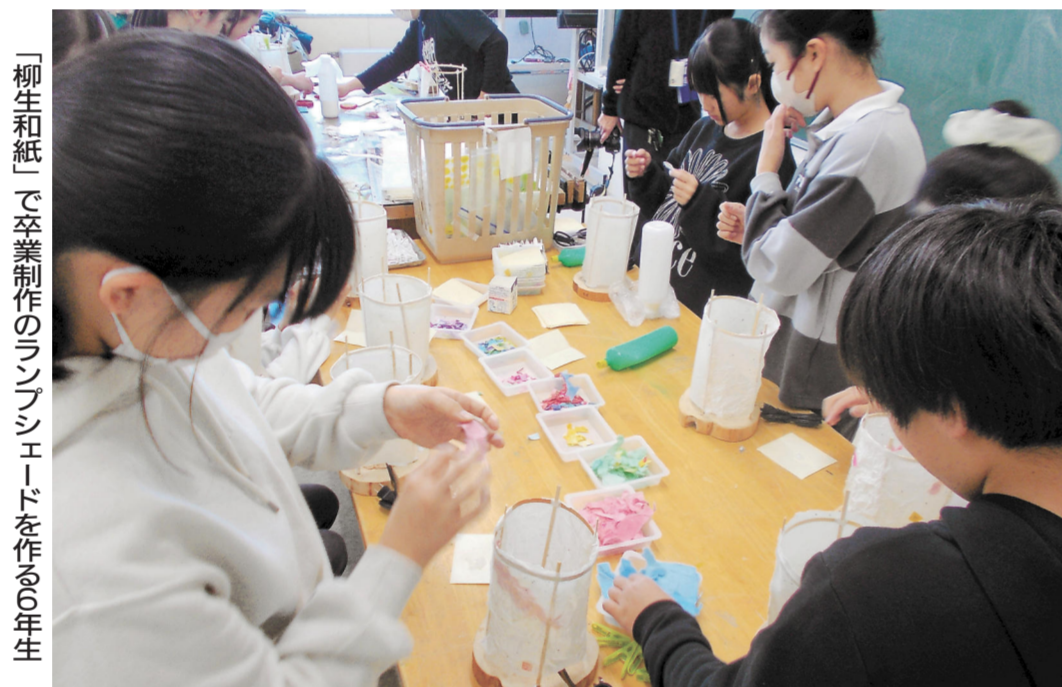
柳生小学校のおススメスポットは広い廊下です。「ワークスペース」と呼んでいます。ワークスペースでは学年全員による集会や、休み時にはベンチに座って友達と会話ができます。

教室とつながり、基本的にオープンな空間になっていますが、隔てる壁として数年前に窓付きの大きなドアが設置されました。ドアを必要に応じて閉め、落ち着いた環境で学習に取り組めます。このように魅力的な場所がある校舎をこれからも大切にしていきたいと思っています。

学校名 仙台市立柳生小学校
所在地 仙台市太白区柳生台畑100
創立 2000年
電話 022(741)3270
校長 佐々木 孝徳
児童数 523人

柳生小学校では「ハッピー柳小チャレンジタイム(柳チャレ)」という児童会行事があります。4、6年生が学級ごとに、他の学年と交流できる店を出します。その店を上級生と下級生がペアで回って楽しめます。柳チャレ開催前にルールの説明の動画を撮り、昼のテレビ放送でコマシヤルとして流します。今回は、風船バレーやフリースローなどアイデアいっぱいのお店が登場しました。柳チャレを通して、他学年との交流を深めることで、学校全体が温か

地域の誇り「柳生和紙」



「柳生和紙」で卒業制作のランプシェードを作る5年生

編集委員 志小田なつ、柴田瑚呼、白岩夕季乃、高橋明莉 (3月卒業)
指導教員 梅本修平、星川彩

わが校わがまち スクール通信



今回は 大衡小(大衡村) 鳴瀬小(加美町)

鹿踊りや古代米、誇らしく

地元の歴史・文化を学ぶ

多賀城八幡小学校では、多賀城の歴史や文化を学ぶ学習に取り組んでいます。その中でも3年生は「多賀城鹿踊り」という伝統芸能を受け継いでいます。毎年、多賀城鹿踊り保存会の方に教えてもらっています。太鼓を叩きながら踊ります。最初は足の動きを合わせるのに苦労しますが、昔からの伝統を受け継ぐという誇らしい気持ちで踊っています。「もっと踊りたい」「もっと知りたい」という声が出て、伝統芸能クラブも発足しました。



多賀城の歴史や文化を学ぶ学習に取り組む多賀城八幡小の児童(左上から時計回りに)3年生による多賀城鹿踊りの学習発表会、伝統芸能クラブの発表会、5年生による古代米の田植え、古代米の稲刈りをする5年生

編集委員 相原修斗、阿部綾音、斎藤莉子、坂口心琉、鈴木奏汰、茂東慶亮 (6年) 指導教員 佐々木恵

多賀城八幡小



これがイチオシ

広い校庭 遊んで運動も

多賀城八幡小学校の自慢の一つが広い校庭です。休み時間は鬼ごっこやサッカー、なわとびなどをして元気いっぱい遊んでいます。広いので、鬼ごっこは大人数でできて、簡単につかまりません。校庭の奥には「つき山」があります。雪が積もったら、滑って遊ぶのが楽しみ。つき山のてっぺんに登り、学校周辺の景色を楽しむこともできます。仙石線の電車を楽しみにしている友達もいます。これからもみんなで仲良く、たくさん遊んで運動したいです。

学校名 多賀城市立多賀城八幡小学校
所在地 多賀城市八幡六貫田172
創立 1983年
電話 022(368)1007
校長 鎌田 光伸
児童数 297人

宮城県南三陸町の入谷小(児童46人)は、ドローンで空撮された地元の景色を見る授業を入谷地区にある童子山(約320m)の麓で実施した。児童は毎年春、授業の一環として頂上まで登って地区を眺めていたが、クマ出没などの危険性を踏まえて内容が見直された。ドローンの授業は4月24日にあり、6年生7人が参加。機材を提供した町内の南三陸高の教員2人が高さ約100mまでドローンを飛ばし、上空から撮影した動画をコントローラーのモニターに映し出した。子どもたちはモニターで入谷小の校舎やそれぞれの自宅

空から見る入谷、きれい 南三陸の児童 ドローン体験



南三陸高教員のサポートでドローンの操縦を体験する児童

ぼくはアフリカにすむ キリンといいます

岩佐めぐみ 作
高島 純 絵
偕成社



本のプロ 推しの一冊

手紙通じて新しい出会い

アフリカにすむ退屈なキリンには、欲しいものがありました。それは、とびっきりの友達。キリンはある日、退屈なペリカンが郵便配達を始めたというポストカードを見つけて、キリンが手紙を書いて、ペリカンがその手紙を届けに行ってくれたら、2匹とも退屈じゃなくなるかも考えたキリンは「地平線のむこうにすきみ」に宛てて、手紙を書きました。手紙は、地平線の向こうにすむペンギンへ届きます。ペンギ

ンは「ぼくは長い首で有名です」と書かれたキリンの手紙を読んで思います。首っていったい何だろう? これをきっかけに、キリンとペンギンは手紙のやりとりを始めます。2匹は友達になることができるのでしょうか。そして、キリンとペリカンは退屈ではなくなったのでしょうか。シリーズにもなっている人気作です。小学校中学年から。(仙市民図書館 平塚詩帆)